

和田雨乞踊出演概要

香川県県民ホール開館記念（こけら落とし公演）では、県内3団体国外2団体の計5団体により、『アジア・太平洋うたとおどりの祭典』と題して公演がなされた。

県内の3団体のうち無形民俗芸能は、文化財としての価値が高いもの2団体、民舞は、芸術性を求めセミプロ団体を選定したとのことであった。また、国外の団体は、これまで日本であまり公演されたことのないものを選んだとのことであった。

この公演では、非常に多くのものを学ぶことができた。以下、思い出すままに記してみる。

公演約1年前

- ◎構成、演出など責任者の決定
- ◎出演団体の選定基準の決定
- ◎選定基準による団体調査及び出演交渉

公演約2か月前

- ◎舞台構成、背景などの打ち合わせ

公演約2週間前

- ◎リハーサルの打ち合わせ（この時に台本を受け取る）

公演前日

- ◎仕込み及びリハーサル
- ◎衣装及び道具は、本番同様との指示があり、リハーサルは、出演団体のためだけでなく、舞台・照明・音響などのスタッフのためであるとの話を伺う。また、開館間もないホールでは、スタッフの育成が十分でないため、今回は、国立劇場からの応援が入っていると伺う。

公演当日

- ◎通し稽古
- ◎本番

和田雨乞踊保存会としては、初めての本格的な舞台への出演であったが、以後の出演では、この経験が大いに役立つこととなった。参考になるようであれば、活用してください。